



グリーンポトスニュース

15号：98年11月

秋も深まり、紅葉前線もかなり南下してきたようです。朝晩もかなり寒くなってきましたので、くれぐれも風邪などをひかないようにして下さい。今月の話題は『神経ブロック』です。

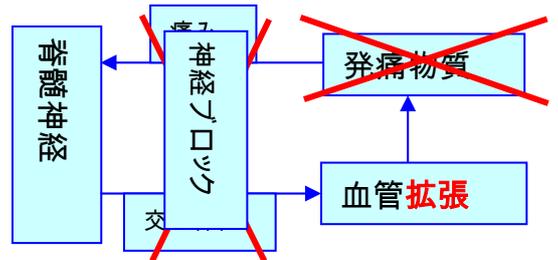
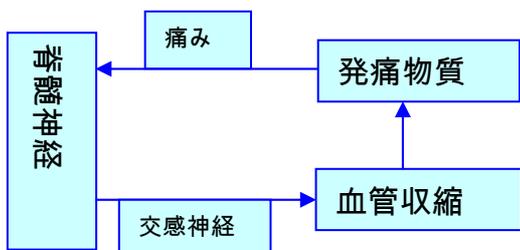
神経ブロック療法

当院は専門治療の一環としてペインクリニック～痛みの診療～を行っております。様々な痛みを対象としているため、治療法も多岐にわたります。その治療方法の主なものとして神経ブロック療法があります。ご存知のように神経は体中に網の目のように張巡らされています。その中には筋肉を支配している(運動神経)、痛みを伝える神経(痛覚神経)、血管を支配する神経(交感神経)、内臓やホルモンを支配している神経(自律神経)などがあります。ペインクリニックにおける神経ブロック療法の対象になるのは痛覚神経、交感神経、自律神経です。痛みが慢性的に続くと

“痛みの悪循環”が形成されます。左図をご覧ください。痛む部位より発痛物質が出され、脊髄神経に痛みとして認識されます。すると脊髄神経は血管を支配している交感神経を興奮させて血管を収縮させます。血管が収縮すると、血流が悪くなるため、

痛みが増悪し、発痛物質が多く分泌されます。これが、“痛みの悪循環”なのです。痛みが長く続くと自律神経にも悪影響を及ぼし、身体の変調を訴えるようになります。神経ブロック療法は、この“痛みの悪循環”を改善します。右図をご覧ください。神経ブロックは、痛みを遮断すると同時に交感神経をブロックします。そのため、痛みの信号が脊髄神経に伝わらないばかりか、血管が拡張して、発痛物質の分泌を押さえ、“痛みの悪循環”を改善し、変調を来たした自律神経を整えます。つまり、

神経ブロック療法は単に痛みを止めるだけでなく、血行を改善することにより、身体本来が持っている自然治癒力を高め、痛みばかりが痛みをもたらす原因までも回復させるのです。



麻酔科(ペインクリニック)・内科・アレルギー科・リハビリテーション科



編集・発行 **かめざわクリニック**

～痛みの診療所～

春日井市東野町 10-12-2

TEL (0568)56-5050

裏面もご覧ください